

水源かん養機能を育む 森林土壌について


戦後の拡大造林

- ・木材生産と荒廃森林の復旧めざす
- ・成熟すれば公益的機能を十分に発揮

人工林の現状

- ・木材価格の低迷による生産活動の停滞
- ・手入れ不足により公益的機能の低下

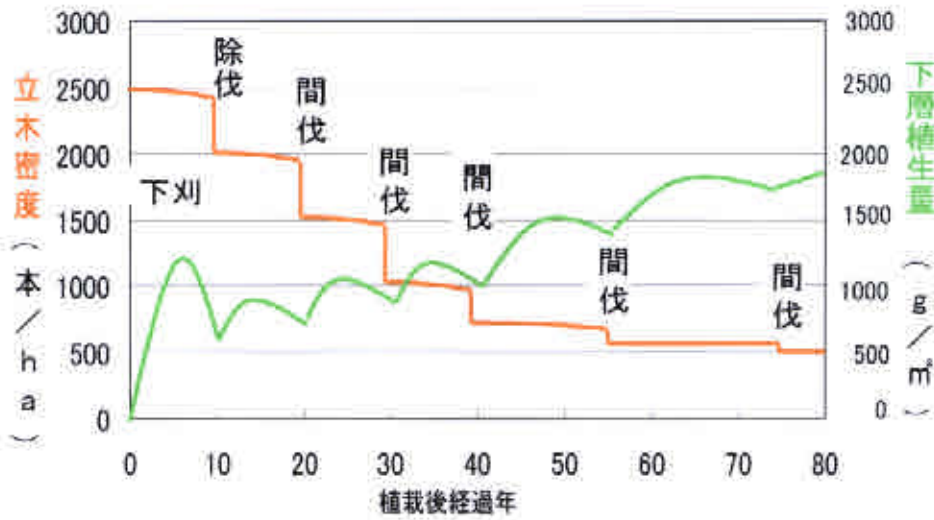
手入れを行なった林地の森林土壌



The photograph shows a cross-section of forest soil. A red measuring rod is placed vertically on the right side. A blue arrow points from the surface layer down to the subsoil layer. The surface layer is dark and rich in organic matter, while the subsoil is lighter and less organic.

- 下層植生
- 落葉
- 表層土
(腐植や孔隙に富む)
- 下層土
(腐植や孔隙が少ない)

充分な手入れを行なった林地の 立木密度と下層植生量の推移



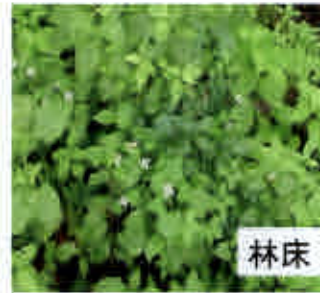
手入れ不足林地の森林土壌の流亡

手入れ林地(そぶ池)

手入れ不足林地(西山)

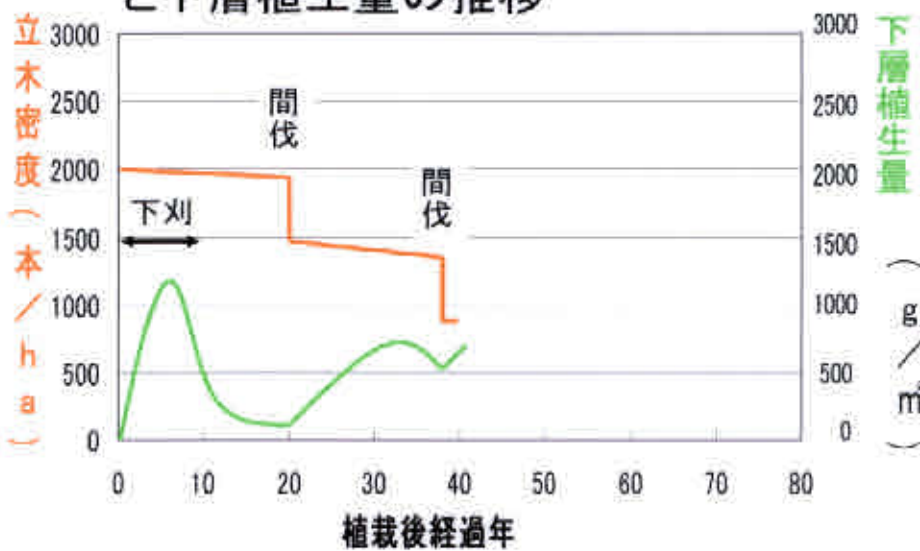


手入れ林(そぶ池)の概況



樹種:スギ(主な林齢:33~38年) 立木密度:900本/ha
 施業:植栽後10年間の下刈りと・枝打ち・間伐を適宜実施
 H15年から不用木や折損木処理

手入れ林地(そぶ池)の立木密度と下層植生量の推移

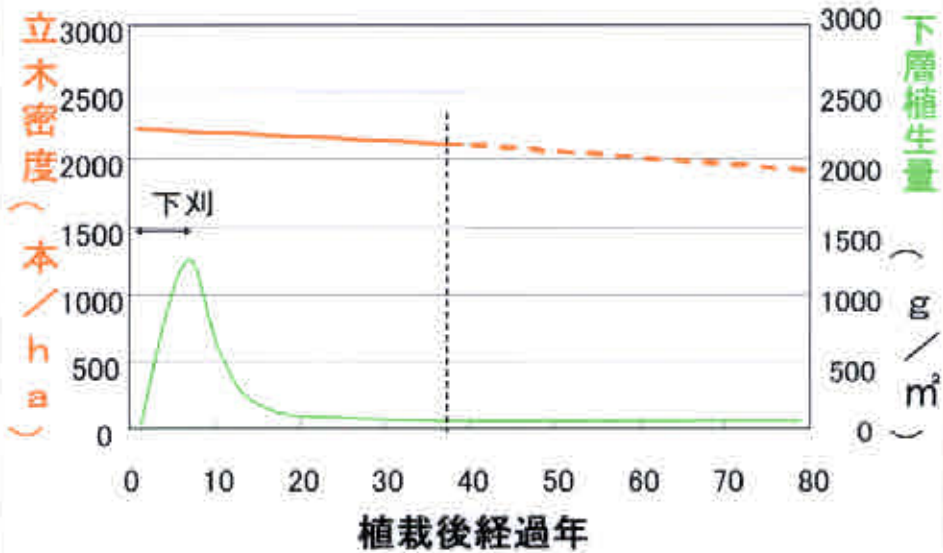


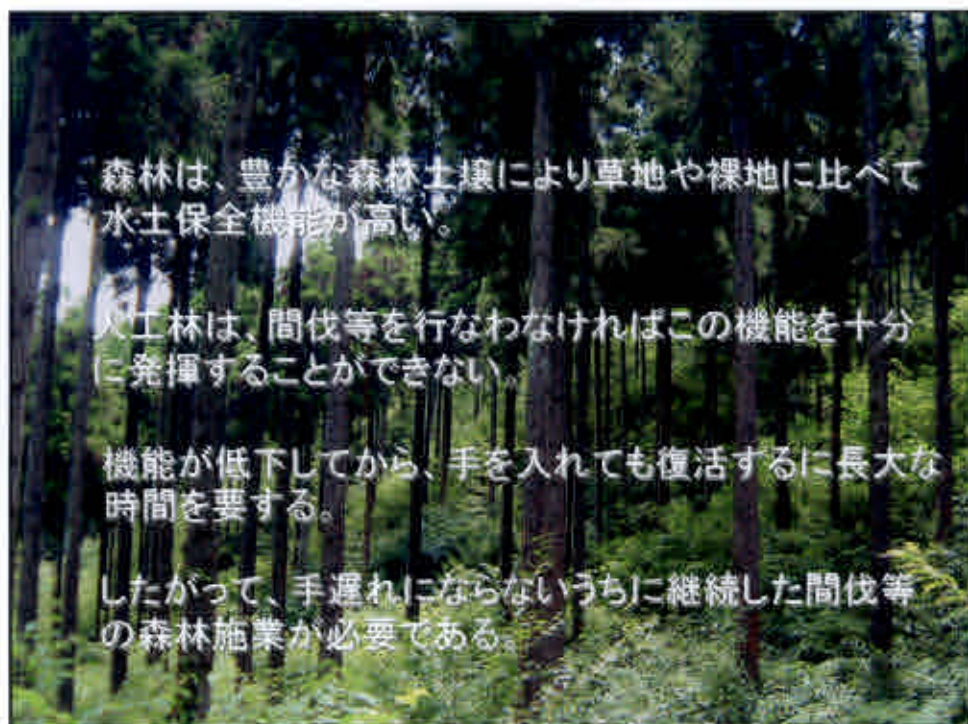
手入れ不足林(西山)の概況



樹種:スギ(主な林齢:38年) 立木密度:2,100本/ha
 施業:枝打ち・除間伐などはまったく行われていない。

手入れ不足林(西山)の立木密度と下層植生量の推定変化





森林は、豊かな森林土壌により草地や裸地に比べて
水土保持機能が高い。

人工林は、間伐等を行わなければこの機能を十分に
発揮することができない。

機能が低下してから、手を入れても復活するに長大な
時間を要する。

したがって、手遅れにならないうちに継続した間伐等
の森林施業が必要である。